

マルチコプターの特徴

(UAV: Unmanned Aerial Vehicle)

◆安定した飛行と撮影

高度250m以下(航空法制限)の撮影が可能で従来の航空機(ヘリコプター等)では近づけないような箇所の撮影、低高度撮影が可能です。

地上風速8m/sでも安定飛行を実現

8枚ローターのマルチコプターは非常に安定した飛行を可能にします。また、ボディはカーボンファイバーを使用し軽量で、GPS受信機や加速度センサー・高度計を搭載しているため、地上風速8m/sの環境でも全く問題なく飛行することができます。

座標(高度、緯度、経度)を指定する事で、定点での撮影(遺跡発掘現場、工事現場の進行状況などの管理)も容易に行うことが可能です。



◆パワフルな飛行

最大積載重量6kg

一般的な6枚ローターのマルチコプターの最大積載重量は2.5kg以下であるのに対し、このマルチコプターは6kgもの積載が可能になります。



◆ブレの少ない写真撮影

三軸ジンバルと高解像度カメラ

カメラは、SONYミラーレス一眼 NEX-7を搭載し、3軸ジンバルにより衝撃や振動を吸収し、撮影された画像はブレ等が非常に少なく、航空写真図化等の緻密な線描にも耐えられる。

飛行中のカメラが撮っている画像をモニターチェックできるため撮影ミス防止につながります。



SONYミラーレス一眼 NEX-7
有効画素数2430万画素
焦点距離 16mm

画郭サイズ 23.5mm×15.6mm

UAV(マルチコプター)とNMB(ナローマルチビーム)による作成例 (離岸堤)

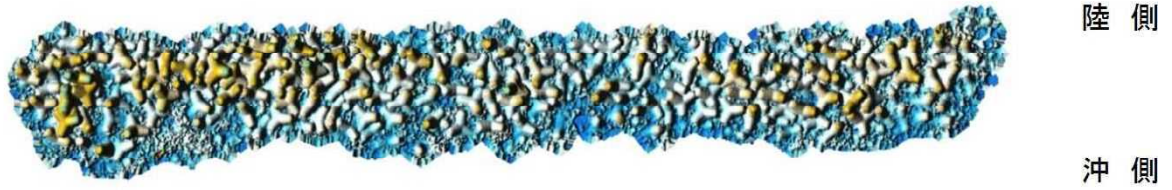


図-1. 3D画像

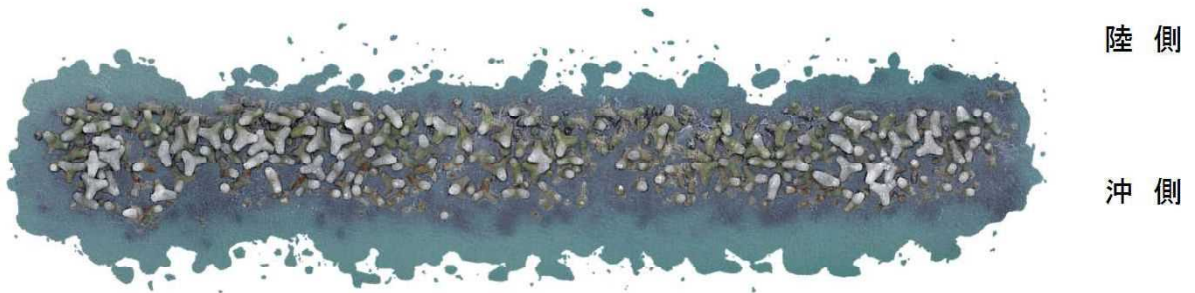


図-2. 写真

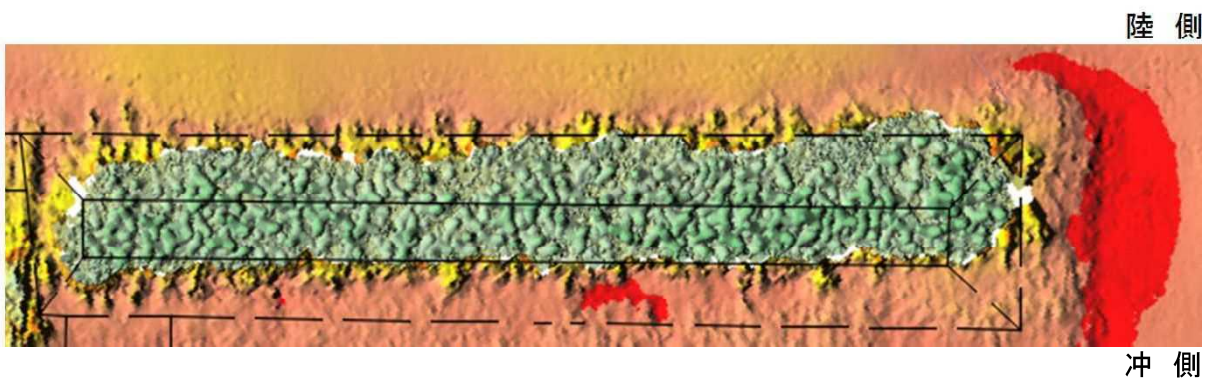


図-3. 鳥瞰図

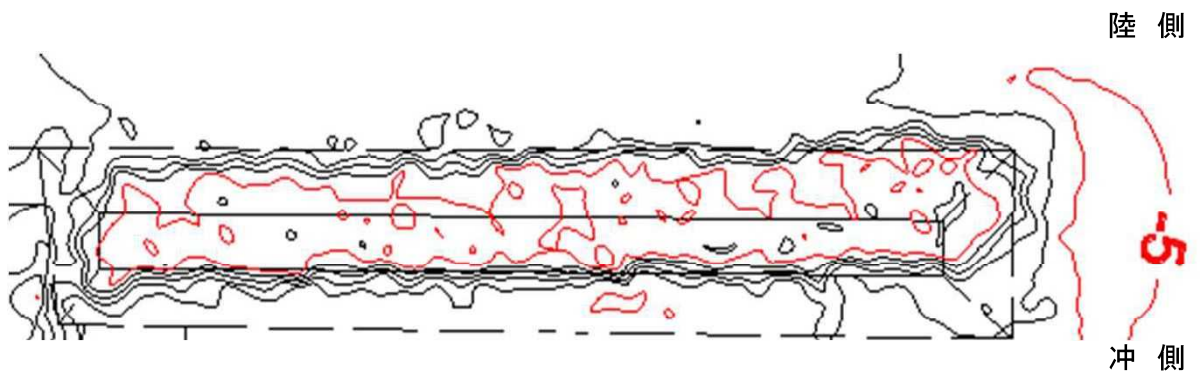


図-4. 水深図

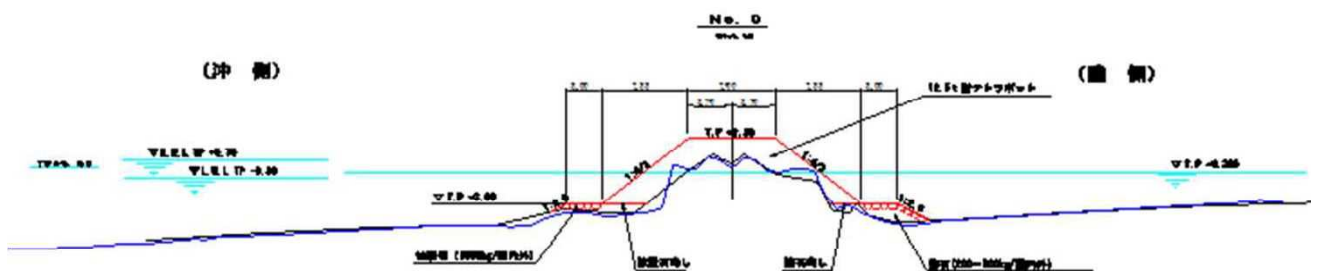


図-5. 横断面図